




一般質問通告書一覧（9月24日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める理事者
 <p>(10番) 大坪 宏通 (次世代の党)</p>	<p>1 地産地消型のエネルギー施策の取組について</p> <p>(1) エネルギーの地産地消などによる緊急時のエネルギー対策として、どのような取組を進めていこうとしているのか。</p> <p>(2) 現在整備が進められている大淀町の木質バイオマス発電施設における原料木材の調達計画はどのようになっているのか。また、木質バイオマスの熱利用モデルの構築に向け、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) 営農型太陽光発電の推進について、県はどのように考えているのか。また、全国や本県における設置状況はどうか。</p> <p>2 林業の振興について</p> <p>山村地域の活性化や森林の公益的機能の持続的な発揮には、林業の振興が不可欠だと考えるが、振興の大きな鍵となる県産材の安定供給について、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>3 子供達の規範意識について</p> <p>本県の子供達の規範意識の現状はどのようなものであるのか。また、規範意識の醸成にどのように取り組んでいるのか。</p>	<p>知 事</p> <p>農 林 部 長</p> <p>農 林 部 長</p> <p>農 林 部 長</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(26番) 岩田 国夫 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 豪雨への対策について</p> <p>(1) 雨水貯留浸透施設の整備や、ため池の治水利用等による「ためる対策」は、近年、日本各地で発生している局地的な豪雨への対策にも有効であると考えているが、県では、大和川流域総合治水対策における流域対策にどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 先月発生した広島市北部の土砂災害を教訓として、本県においても、土砂災害の恐れがある地区においては、土砂災害防止対策の大きな柱の一つである砂防ダムの整備を推進すべきと考えるが、県の土砂災害防止に関する今後の対応方針について伺いたい。</p> <p>2 歴史文化遺産の活用について</p> <p>奈良県の文化財をはじめとした歴史文化遺産を活用し、現地で歴史を味わえる取組が重要と考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>3 在宅サービスの充実について</p> <p>介護保険の地域密着型サービスは、在宅サービスの一つとして地域包括ケアシステムを支える重要な介護サービスであると考えているが、その整備に向けて、県ではどのように取り組んでいくのか。</p> <p>4 「幼保一体化」の推進について</p> <p>「天理市立やまだこども園」は、子どもが減少している地域での幼保一体化の取組例であるが、待機児童が発生している地域を含め、認定こども園の普及による幼保一体化をより一層推し進めるべきと考える。県では、どのような方針で幼保一体化の推進に取り組んでいるのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p> <p>こども・女性局長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
(26番) 岩田 国夫 (自由民主党 改革)	5 天理市内の道路整備について	【 要 望 】
 (1 番) 宮木 健一 (自由民主党)	1 県立大学における教育の充実について 県立大学では、今年度よりコモンズ制を導入するなど教育面での改革を進めているが、平成27年4月の公立大学法人化に向けて、今後、どのように教育の充実を図っていくのか。 2 子どもが親しみやすい県立美術館づくりについて 子どもが親しみやすい美術館にするために、県立美術館ではこれまでどのような工夫をしてきたのか。また、今後、展覧会やイベント等においてどのような取組を行おうとしているのか。 3 まほろば健康パークについて 本年7月にオープンしたまほろば健康パークの利活用の現状と、今後の取組について伺いたい。 4 小中学校における英語教育の充実について 小中学校の英語教育において、グローバル化に対応し、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、国際性豊かな奈良の特性を活かした学習を充実させるべきと考えるがどうか。 5 公立小中学校の普通教室へのクーラー設置について	知 事 知 事 まちづくり推進 局 長 教 育 長 【 要 望 】

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(38番) 秋本 登志嗣 (自由民主党 改革)</p>	<p>1 災害時に孤立した集落に対するヘリコプターによる支援について</p> <p>災害時の孤立集落対策のためには、ヘリコプターによる支援が有効と考えるが、県は、集落側の受援体制の整備のためにどのように取り組んでいくのか。</p> <p>また、救助や物資輸送、さらには自衛隊の部隊展開の拠点についても整備が必要と考えるがどうか。</p> <p>2 新宮川水系の治水対策について</p> <p>風屋ダム、池原ダム、猿谷ダムは、治水利用に取り組んでいると聞いているが、災害に強く、山間地域の人々の安全・安心な生活の確保のためには、新宮川水系に治水ダムが必要であると考えているが、如何か。</p> <p>3 紀伊半島大水害からの復旧・復興について</p> <p>(1) 五條市大塔町惣谷地内の地すべり対策工事が進捗し、県道篠原宇井線の通行が可能となる時期はいつ頃になるのか、伺いたい。</p> <p>(2) 熊野川に堆積している土砂の撤去について、現状と今後の予定を伺いたい。</p> <p>(3) 砂防ダムに堆積した土砂は、その都度撤去すべきと考えるが、県ではどのように対応しているのか。</p> <p>4 高等養護学校の分教室の設置について</p> <p>県立高等学校へ高等養護学校の分教室を設置する意義と、県教育委員会として、今後どのように取り組んでいくのか、伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>県 土 マネジメント 部 長</p> <p>県 土 マネジメント 部 長</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(38番) 秋本 登志嗣 (自由民主党 改革)</p>	<p>5 新しい出生前診断について</p> <p>妊婦の血液から胎児の染色体を調べる新しい出生前診断を考える妊婦や家族に対して、県ではどのような相談体制を設けているのか。また、県内では唯一県立医科大学附属病院で診断が行われていると聞いているが、診断を受ける方やその家族へのサポートのために、どのような運営をされているのか。</p>	<p>医療政策部長</p>